



東陽の旋風^{かぜ} ～自立貢献～

令和4年11月25日（金）No.29発行
文責：松本 卓也

東陽小・中合同研修 ～「企業は、何を大事にすべきなのか？」～

21日（月）、東陽小・中合同研修の一環として、熊本県立教育センターから T 指導主事をお招きし、研究授業を行いました。授業者は M 教諭。3年生社会科は、3ヶ月連続の研究授業です。本時のめあては、「企業経営での大事な要素について考えよう」。4つの班が提案する CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) 活動を、「社長」、「投資家」、「就職を考えている学生」の立場で評価していく内容です。資本金 1,000万円を元手に、各班が提案した CSR 活動は、次の4つです。



- ① 小売業（会社名：DREAM）「社内での募金活動」「募金 week の期間は売上げの5%を募金」
- ② IT 関連企業（TOMI）「行政と協力した地域の魅力を発信」「アプリを使っの仮想外出」
- ③ 建設会社（S 建設）「カーボンニュートラルや SDG s への取組」「地域清掃や職場体験学習の受入」
- ④ 自動車会社（VI モーターズ）「安価に修理、地域へのボランティア」「福利厚生の実践」

提案を受け、不明な点や疑問点を質問し、効率と公正の観点で評価を相互に行い、これからの社会に求められる企業のあり方について自分の意見をまとめていきました。社会が持続的に発展していくために、企業が社会の一員としてどのように貢献していくのか？企業経営の視点から探求する单元デザインの工夫がみられた授業でした。授業研究会では、「生徒が主体的な学び手となる授業づくり」に向け、小学校の先生方と活発な協議が行われました。T 指導主事からは、授業や单元構想の気づきとして、「子どもたちの能動的な姿がさまざまな場面で見られた。」「单元構成は、すごく面白い。子どもたちがわくわくする構成である。」「投資家や顧客に向けた経営計画（財務計画）の提案もあったので、本時のねらいとする（CSR 活動から）企業が大事にすべきことは考えられたのか。」「本時で働かせる社会的な見方・考え方として、『効率と公正』は適切だったか。」等、多くの指導助言をいただきました。【課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組んでいましたか】の問いに対し、肯定的に回答した3年生の割合が、今回の実態調査では 100.0 でした。（4月は 71.4）今後、各教科・各学年でも、知的好奇心を喚起し、子どもたちが意欲的かつ主体的に考え活動する授業を目指し、授業改善をさらに進めていきます。T 指導主事、公務ご多忙の中、東陽小・中学校へのご指導・ご助言ありがとうございました。



「時を守り、場を清め、礼を正す」

現在、開催されている W 杯カタール大会。試合もですが、整理整頓されたロッカールームのようすが世界中で賞賛されています。記事によると、ある日本人サポーターは「私たちは日本人でありゴミを置き去りにしません。そしてスタジアムを尊重しています。」と答えたそうです。日本人の気遣いや謙虚さ、感謝の精神が世界で賞賛されているのだから、私たちが「場を清める」。まずは無言感動掃除やロッカー、机の中の整理整頓を実践していきましょう。
【写真：FIFA 公式ツイッター】



生理用品をいただきました ～教育へのCSR～

22日（火）、第一生命保険株式会社の地域貢献活動の一環として生理用品を寄贈していただきました。経済的な理由等から生理用品の確保が困難な状況にある「生理の貧困」が社会問題化しています。生理用品の確保に不安を感じることなく、安心かつ健康な学校生活を推進するため、11月から校舎各階のトイレに生理用品を常備しています。寄贈された生理用品も、子どもたちが活用できるよう大切に使用させていただきます。第一生命保険株式会社 熊本支社 八代営業オフィスの S 様、T 様、ありがとうございました。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）